

クラスター	病理・病態系クラスター		
授業科目名	細胞病理学・実習		
担当者名	責任者	田中 正光	分担者
単位数	1単位(選択)		配当年次
授業形態	実験実習		実施場所
開講期間	科目履修登録終了後に受講者へメールで連絡します		
開講曜日・時間	科目履修登録終了後に受講者へメールで連絡します		

授業の概要・到達目標

授業の目的:細胞単位での形態変化のメカニズムを理解することを目的とする。
 授業の到達目標:腫瘍にもなった細胞形態変化の特徴に大きくかわる項目を理解し,説明することを目標とする。

授業の概要:

- 1.2. アポトーシスによる細胞死のメカニズムと形態を理解する。
- 3.4. ネクローシスによる細胞死のメカニズムと形態を理解する。
- 5.6. パイロトーシスによる細胞死のメカニズムと形態を理解する。
- 7.8. 上皮間葉転換(EMT)のメカニズムと細胞形態を理解する。
- 9.10. EMT類似の機構による細胞形態の変化を理解する。
- 11.12. 細胞の老化にともなう分子変化と細胞形態について理解する。

授業計画

	講義 (講義内容)	担当教員	講座名 〔実施場所〕
1	アポトーシスの細胞形態	田中 正光	分子生化学 〔講座セミナー室〕
2			
3	ネクローシスの細胞形態	田中 正光	
4			
5	パイロトーシスの細胞形態	田中 正光	
6			
7	上皮間葉転換の細胞形態	田中 正光	
8			
9	EMT類似の細胞形態	田中 正光	
10			
11	細胞老化に伴う形態変化	田中 正光	
12			

授業形態および成績の評価方法・基準

セミナー室での講義30時間+自学自習15時間,計45時間で1単位とし,評価は出席状況と口頭試問および筆記試験の結果,提出したレポートの内容を考慮して行う。

問い合わせ先(氏名,メールアドレス等)

田中 正光, mastanak@med.akita-u.ac.jp

その他特記事項

履修に関する情報:社会人大学院生など,勤務等で実習に出席できない場合には日程の調整に応じます。

教科書・参考文献:必要に応じて資料を配付する。または,文献を指定する。

自学自習時間における学習内容:到達目標や授業内容に応じた準備学習を行うことが望ましい。